

海洋の竹 | Bamboo of the Ocean



ジュリア・ローマン
ハンブルグ造形美術大学教授
私たちの見方や振る舞いは、自分たちの文化によって規定されています。自然界に存在する材料を使った作品は、慣習や思い込みに対する異議申し立てなのです。

昆布。ジュリア・ローマンは、デザイン活動を通じて、人間と動植物の関係性を支えている倫理的また物質的な価値体系を研究している。英国王立芸術学院[RCA]で学び、指導も行ったローマンは、2013年にイギリスのビクトリア&アルバート博物館[V&A]のデザイナー・イン・レジデンスとして、海藻部門という、海洋植物をデザインの素材として用いるための学際的な研究分野を立ち上げた。彼女の作品は、世界の主要な公的また私的なコレクションの一部をなしている。また、エスミー・フェアベアン財団、ブリティッシュ・カウンシル、ジャーウッド・コンテンポラリー・マイカーズ、D&AD、イギリス芸術財団、ウェルカム・トラストなどから支援を受けてきた。

Julia Lohmann
Professor, University of Fine Arts, Hamburg
Our ways of seeing and doing are framed by our culture. My work with natural materials introduces ways of thinking to challenge what we take for granted.

Seaweed. Julia Lohmann investigates the ethical and material value systems underpinning our relationship with flora and fauna. Julia studied and taught at the RCA. In 2013, as Designer in Residence at the Victoria and Albert Museum (V&A), she established the Department of Seaweed, a trans-disciplinary community exploring the marine plant's potential as a design material. Her award-winning work is part of major public and private collections worldwide and has been supported by the Esmée Fairbairn Foundation, the British Council, Jerwood Contemporary Makers, D&AD, the Arts Foundation and the Wellcome Trust.

KYOTO Design Lab
Designer in Residence
Program Exhibition

Julia Lohmann Gero Grundmann Making the Known New

KYOTO Design Lab Tokyo Gallery
[3331 Arts Chiyoda]

ゲロ・グルンドマン
Studio Bec Design Communication, MARCA

人々を冒険家や作り手へと変える。古代の工芸品を甦らせる、複雑な社会問題や文化的課題についての理解を促す……コミュニケーション・デザインは、どのようにして、これらのことと可能にするのでしょうか？

ゲロ・グルントマンは、学際的なコミュニケーションデザイナーであり、とりわけインクルージョン、倫理、持続可能性、工芸に関心を寄せている。

グルントマンは、ロンドンおよびハンブルグを拠点とするデザインスタジオ Studio Bec を設立し、自身の妻でありパートナーであるジュリア・ローマンとともにさまざまな作品を作ってきた。

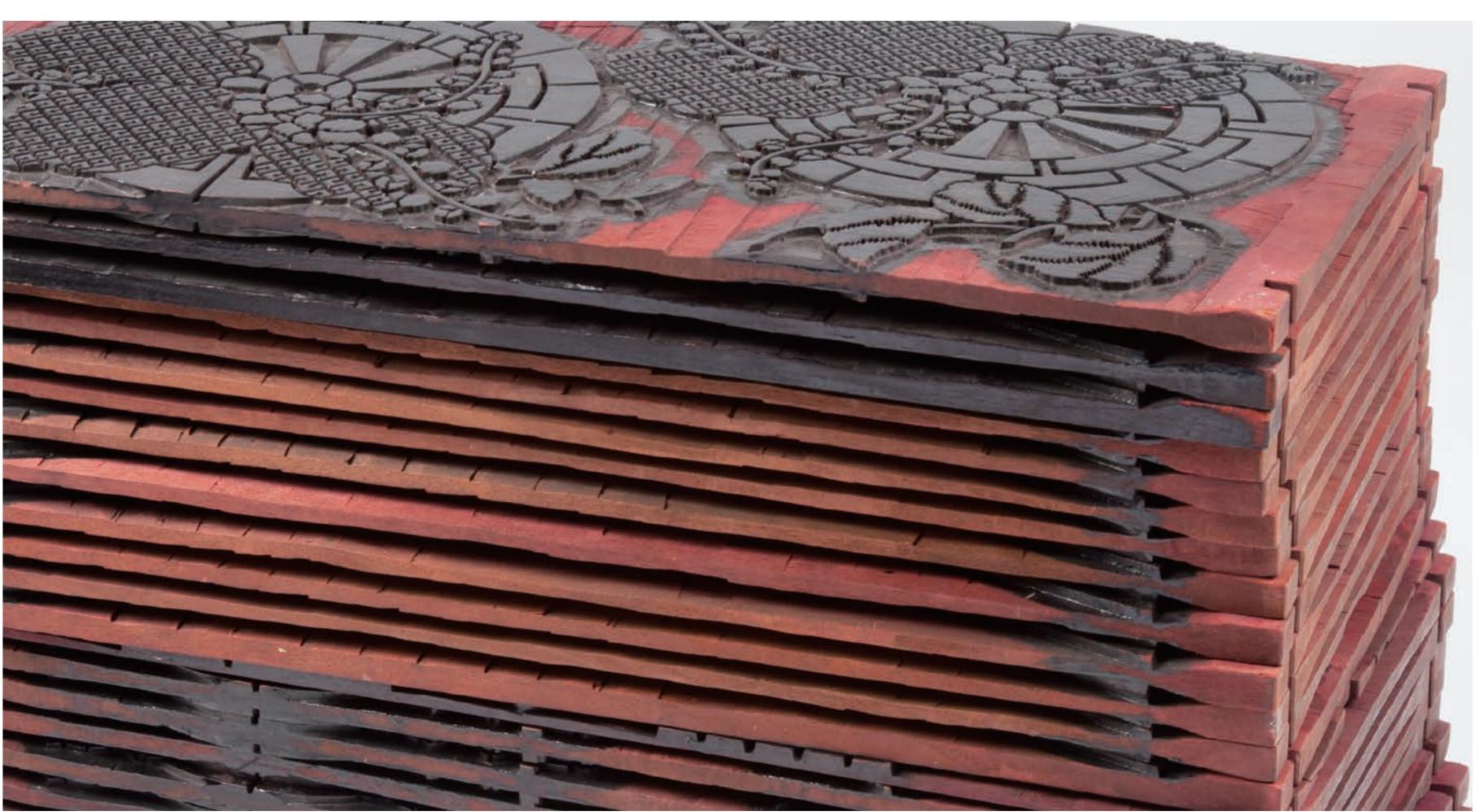
また、在欧のデザインスクールの修士課程で教鞭を執り、ヨーロッパやアジアの学生を指導し、数多くのワークショップを成功に導いている。

Gero Grundmann
Studio Bec Design Communication, MARCA

How can communication design turn people into explorers and makers, revive ancient crafts and help us make sense of complex social and cultural issues?

Gero Grundmann is a multidisciplinary communication designer working in London and Hamburg with a special interest in inclusion, ethics, sustainability and craft. Grundmann runs the London/Hamburg-based communication design studio Studio Bec developing projects with his wife and partner, the designer Julia Lohmann. He teaches at European design schools, has co-authored an MA-level design curriculum, and led numerous workshops, and mentored design students and practitioners in Europe and Asia.

→ studiobec.com
→ gerogrundermann.com



Making the Known New

ジュリア・ローマン+ゲロ・グルントマン展——既知の事柄をつくり直す

2016年5月28日[土]—6月19日[日] | 月・火休廊 | 12:00-19:00 | 主催=京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab

KYOTO Design Labは、設立以来初のデザイナー・イン・レジデンスとして、ジュリア・ローマンとゲロ・グルントマンによる新作を展示いたします。竹や漆といった自然素材をデザイン・マテリアルとして作品に昇華させてきたローマンは、D-labの最新技術を用いて、昆布と竹に微細な文様を展開した照明器具とアートピース「海洋の竹」を生み出しました。また、グルントマンは、京都工芸繊維大学美術工芸資料館が所蔵する「板締染道具」をベースにしたコミュニケーション・デザインである「Making the known new」を制作しました。既知の素材と知識が新たな手法と出会うことで、私たちは新鮮な知的刺激に触れる事になるでしょう。